

日本の原風景が残る里山で、田舎暮らし体験を楽しもう!

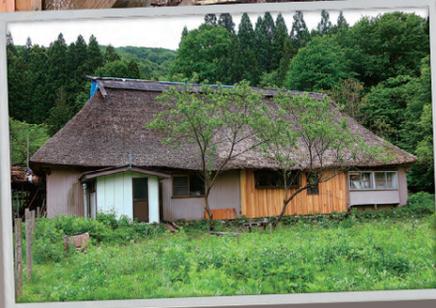
第2回

秋田県 八峰町

お試し移住ツアー!

REPORT

2016.6.3-5



町への移住・定住を希望する人のための空き家活用事業が、全国的に注目されている秋田県八峰町。町民との触れ合いを通じて、今後移住を考えている人たちに地域の雰囲気を感じてもらおうためのツアーを開催しました。みんなで協力し合って楽しんだ、リフォーム体験付きツアーの様子をお届けします。

先輩移住者インタビュー

自給自足の自由な暮らしをこの場所で。

宮城県仙台市生まれ、現在は塩竈市に実家がある木村さん。大学中退後、海外を旅しながら人生を模索。やがて自分なりの生き方を自給自足の農業に見いだして行く。勉強を重ね「そろそろ農業で生活を始めたい時期かな」と考え始めた頃、手塚坂の古民家と出会う。住居の傷みは激しかったが、自宅前に農地があり、近隣に気を遣わずに生活できる環境が気に入った。妻の郁代さんとは、移住後に共通の友人が催すイベントで知り合った。同じ価値観を持つ二人はすぐに惹かれ合い結婚、現在夫婦生活3年目になる。まだまだ生活が安定しない中、家の修繕に手がかかるなど大変な面も。しかし「焦らずにこの生活を続けて、地元へ貢献できたらいい」と語る。木村さんの夢は農業と余暇の時間を半々に持ち、のんびり暮らすことだそう。



妻の郁代さんとは秋田で出会い結婚。この日は郁代さんの実家に世話を頼んだという、長男の日々貴くん(1歳)と3人暮らし。

木村友治さん (宮城県出身 / 移住4年目)

ハ峰町で暮らす。

雄大に広がる日本海と世界遺産白神山地に抱かれた八峰町。目の前に広がる豊かな自然風景は心を癒し、明るく親しみやすい町民との交流は楽しく、日々の疲れも吹き飛びます。しかし理想だけでは続けていくのが難しい移住生活。八峰町で暮らした場合の、具体的なメリットと支援策をご紹介します。



雄大な日本海
海岸部に位置しているため大海原が目の前に。明るく穏やかな夏の姿と、荒波が押し寄せる冬の姿の対比が、日本の四季を如実に表します。



世界遺産白神山地
世界自然遺産の白神山地から流れ出る清流が、農作物等に恵みをもたらします。



なんでもご相談ください!

八峰町地域おこし協力隊の鈴木です! 2016年に家族とともに故郷にUターンしました。八峰町の移住コンシェルジュとして、みなさんの移住のお手伝いをいたします!

八峰町には、移住に関する情報発信や移住希望者からの相談受付などを専門に行う「移住コンシェルジュ」が在籍。疑問や不安など気軽にご相談ください。

f 八峰町地域おこし協力隊 (移住コンシェルジュ) 🔍

町民のメリット

その1 子育て支援が充実しています。

- ✓ 待機児童ゼロで、安心して働くことができます。
- ✓ 保育料は0~2歳児で住民税を基準に算定された金額の半額、3歳児以上が無料です。
- ✓ 高校生まで医療費が無料です。

その2 町営住宅に入居可能です。

戸建の町営住宅が6団地93戸(2016年6月現在)整備されているので、移住の際、住居に困ることがありません。※入居には所得制限があります。

その3 ICT(情報通信技術)を活用したデジタル教育の先進地です。

すべての小中学校にデジタル教科書と電子黒板を導入。平成27~28年度の2年間、文科省の「ICTを活用した学びの推進プロジェクト」実施地域にも指定されています。

移住する方に、さらなる支援制度

- ① 移住者提案型リフォーム事業 ※入居に所得制限なし
町が空き家の所有者から住居を借り上げ、移住入居者のデザイン提案をもとに話し合いながら450万円以内でリフォーム。入居者は町に家賃を支払う形になります。
- ② 定住奨励金制度
八峰町に住居登録して1年以上居住した場合、単身転入で15万円、家族転入で30万円の奨励金を支給します。
- ③ 赤ちゃん誕生祝い金制度
八峰町居住の方に赤ちゃんが産まれた場合、第1・2子で5万円、第3子以上で10万円の祝い金を支給します。
- ④ 雇用創出活動支援事業
八峰町内に事業所または住所がある中小企業等に対し、雇用奨励や創業支援等の補助金制度を設けています。

今後も移住に関するさまざまなイベントを行っていきます。八峰町のホームページもチェックしてください! 八峰町 🔍

「休憩中のおもてなし」



木村さんの自宅には廃材を使った手作りのピザ窯が。朝から夕方までの長時間に渡るリフォーム作業。休憩の際には、この窯で焼いたピザが振る舞われました。

Homemade pizza



職人さんから指導を受けながらの葺き替え作業。茅の間にすぎ間ができないように道具で押し込みます。



束ねた茅を適当な長さにカットします。意外に力が必要です。



今回リフォームの舞台となった古民家で暮らす木村さん。みんなの協力に感謝しながら、ご自身も一緒に頑張りました。



ツアー参加者が仕上げ作業を手がけ、すてきな部屋になりました！ランプシェードは八峰町在住の木芸品職人の作品。「桃源郷」と呼ばれるこの地域の美しい風景を、すかし彫りで表現した秀作です。



奥の部屋から浴室まで直接往来できるように、動線となる廊下を土間に設置。床板には八峰町産秋田杉を使用しました。



塗り壁材は天然素材のものを使用。コテで壁に塗った後、刷毛でなでつけて模様をつけると、オシャレな仕上がりに。

2日目 茅葺き屋根の葺き替えと屋内リフォーム作業

翌日はこのツアーのメインとなる古民家のリフォーム体験。今回訪れた手塚坂は、春になると桃の花が美しく咲く「桃源郷」と呼ばれる地域で、こもりりと豊かな緑に囲まれた場所です。屋外では職人さん指導のもとで茅葺き屋根の葺き替え作業、屋内では事前にリフォームが進んだ一室の壁の仕上げと、土間の廊下づくりです。あいにくの空模様で屋根の葺き替えは雨のすき間を縫っての作業となりましたが、終わった後は充実感でいっぱい。この日も町民のみならず、最後までツアー参加者もてなしました。「この2日間、本当に楽しかった！」と語る参加者の笑顔には、ツアーと八峰町の満足度がうかがえました。



バーベキューで打ち上げ！屋外は雨に降られながらの大変な作業になりました。本当にお疲れさまでした！

Voce 参加者に聞きました。



菊地 武さん(神奈川県在住) 八峰町に移住した人から、町での生活の楽しさを聞き興味を持ちました。実際に訪れて美しく広がる日本の水平線を眺めると、日頃の疲れも癒されて本当にいいところだと感じています。大工仕事が好きなので、空き家のリフォーム事業にも興味津々です！

「ココに宿泊しました」 あきた白神体験センター

自然体験や創作活動など、八峰町でのさまざまな体験プログラムが楽しめる拠点施設。全室オーシャンビューの宿泊棟を完備、隣接の「いさりび温泉ハタハタ館」でゆったりと天然温泉に浸かり、お食事することも可能です。



本館そば打ち体験と秋田名物きりたんぽづくり 1日目



まずはそば粉を練って生地づくりから。子どもと一緒に楽しめるのも本ツアーのうれしいところ。親子での参加も大歓迎！



そば打ち

練りあがった生地を伸ばし、広げていきます。ツアー参加者同士でアドバイスしながら、和気あいあいです。



最後は切る作業。大きなそば切り包丁でトンと切り進みます。みんな上手！

Voce 参加者に聞きました。



佐々木 希さん(神奈川県在住) 昨年八峰町に移住した両親から届く、日常の風景写真に惹かれました。自然が好きで息子をこの環境で育てたいという気持ちも強く、具体的に町への移住を考えています。海が大好きで趣味のバイクで走りたいたころもたくさん！町民のみならず温かくて安心しました。

「ココで体験しました」 本館そば打ち体験館



農村風景の広がる本館地区にある施設。地元の方の指導で打つそばの味は、香りが良く絶品と評判です。宿泊棟の「夕映えの館」が隣接し、素泊まりも可能です。

きりたんぽづくり



炭火でじっくり焼き目をついたら、棒から外して食べやすい大きさに切ります。こうして秋田を代表する郷土料理の主役へ。



手づくり体験中、八峰町の加藤町長があいさつに駆けつける場面も。町をあげて参加者を歓迎！



協力合ってきりたんぽづくり開始。炊きたてのごはんを潰し、棒に巻き付けます。豊かな自然が育む米はとておいしくて良質。米どころ秋田ならではの料理です。



交流会

夜の交流会には、先輩移住者を含むたくさんの方々が参加。温かい歓迎を受け、ツアー参加者からも笑みがこぼれます。



出来上がったそばときりたんぽにみんなで舌鼓。手をかけた分、よりいっそうおいしく感じます。



移住を希望する人にとって、先輩移住者の体験談は貴重な情報。話にも熱が入ります。

